秋田市のデザイン制作会社「株式会社See Visions」 の手がける事業は、グラフィックやウェブなどのデザ インに加え、イベントの企画運営、リノベーション、 飲食業などと、実に幅広い。

近年では、秋田市南通亀の町エリアに魅力的な飲食 店を展開して新たな人の流れを生み出すなど、「まちの デザイン」にも積極的に取り組んでいる。

デザインには、企業の抱える課題だけでなく、地域 の抱える課題を解決する力がある。





自分たちの暮らすまちを、 自分たちで デザインする

「株式会社See Visions | という社名の「Visions | はあえて複数形にしている。そこには、弊社で働く スタッフ一人一人が、それぞれのビジョン=夢を叶 える場所であるようにという思いを込めている。プ ロフェッショナルな技術をもったスタッフたちがそ れぞれ楽しく会社で働いている様子を思い浮かべて つけた社名だ。創業当時から行っているグラフィッ クデザイン、ウェブデザインを中心に、今ではイベ ントの企画運営、リノベーション事業、飲食業、出 版業など、弊社の手がける分野はデザインを中心と してどんどん広がっている。

複数形のビジョン=夢を持つ会社に

「デザイン」は困っていることの 解決策

地域でデザインを生業にしていると、デザインと は困っている人の課題をどう解決するかの道筋をつ けていくことなのだということを強く感じる。依頼 の入り口は「ロゴがほしいんです」「会社案内のパン フレットを作ってください といった具体的なオー ダーではあるが、いざヒアリングをしてみると、本 当に必要なのは、実はホームページだったり、お客 さんと直接会えるイベントであったりとさまざまだ。

See Visionsがグラフィックだけでなく、リノベー ション、ウェブ、出版、飲食店などいろいろなこと を複合的に行うようになったのは、目の前の課題を 見て「こうしたい」「こんなふうになったらいいな」と いうことに一つ一つ取り組んでいったから。積極的 に事業を拡大したというよりは、むしろ、気付いた らこんなふうに複合的な組織になっていたという方 が実感に近い。起業して11周年を迎えた今、振り 返って言えることは、目の前の課題を解決すること は、自分たちの幅を広げることになるということ。 こうしてデザインを通して取り組んだ問題解決が、 自分たちのまちをよりよくしているという実感を得 られるのは、地域でデザインを仕事にする醍醐味で

今やっている個人的なTo Doを書き出すと、もは やデザイン事務所の域を超えている。それでも、常 に「心動かす機能を持っているか」を確認しながら、 自分たちのまちに楽しいことを増やしていくつもり で取り組んでいる。

路地裏の小さなバルから始めた リノベーション事業

秋田市南通亀の町に、住宅街に隣接した昔ながら の商店街や飲食店が並ぶ路地裏、通称「狸小路」が ある。この狸小路に小さなバルをオープンしたのは 2013年のこと。すでに閉店した居酒屋をリノベー ションして、秋田県産の食材をふんだんに使った料 理とワインを提供するスペインバル「カメバル」を 始めた。



酒場 カメバル

僕自身、外食やお酒を介したコミュニケーション が大好きで、おもしろい飲食店が増えれば、まちはもっ と楽しくなるだろうと考えていたときに、折よく今 のカメバルのシェフと知り合った。「まずは自分たち のほしい店をつくってみようしという思いでスタート した、弊社の初めてのリノベーション事業となった。

「エリアリノベーション」で まちの温度を上げる

カメバルをオープンした翌年には、同じ狸小路に イタリア料理店「サカナ・カメバール」を、さらに 2015年には同じ亀の町内にコーヒースタンド&デリ 「亀の町ストア」をオープンした。

実は複数店舗を開店するということは、最初から 決めていた。これは「エリアリノベーション」とい う考え方で、僕がまちづくりやリノベーションにつ いて多くを学んだ建築家の馬場正尊さんが提唱して いることだが、まちのなかに小さなエリアを設定し て、その場所の価値をぐっと上げるための取り組み のことである。自分が楽しめるイベントや自分が行 きたいカフェなどをまずつくる、やってみるという 具体的なアクションによって「あの辺、なんか最近 おもしろいよね、住みやすそうだよね」というシー ンを自分たちでつくってみたいという思いがあった。

3店舗目の亀の町ストア開店時には、亀の町に古 くからあった「ヤマキウビル」を全面的にリノベー ション。2階に貸しオフィス、3階には自社オフィ スが入居する複合ビルになった。再びビルに人の往 来と活気が戻った様子を、ビルオーナーがとても喜 んでくださったのは、その後のリノベーション事業 の後押しになった。

株式会社See Visions 代表取締役

東海林 諭宣(しょうじ・あきひろ)

1977年生まれ。秋田県美郷町出身。クリエイティブ

東京で就職し、Uターン。2006年に秋田市にてデザイ ン会社「株式会社See Visions」を設立。インテリア、 グラフィック、ウェブ、書籍などのデザインや、イベ ントの企画・運営などを手がける。

近年では「株式会社Spiral A」を設立し、秋田市で飲食 店「カメバル」、「サカナ・カメバール」などを運営し ている。

株式会社See Visions

秋田県秋田市南通亀の町4-15ヤマキウビル

URL: http://www.see-visions.com

エリアの魅力を作り出すのは「人」

エリアリノベーションで最も大切なのは「人」で ある。同じエリアにこんなおもしろいことを考えて いる人がいる、こんな特技を持った人がいるという ことを知るきっかけから生まれるクリエイティブな 動きは、まちのおもしろさの種になる。

そんな思いで行っているのが「DISCOVER KAMENOCHO」である。これは亀の町ストアにゲ ストを招き、お酒を飲みながらお話をうかがうトー クライブで、これまでに12回開催している。その場 に集まった人たちと軽く一杯やりながら、ゲストの 刺激的な話を聞きつつ、参加者から自然にさまざま な話が飛び交うのが理想だ。それは何かクリエイ ティブなアイデアになるかもしれないし、ビジネス につながるかもしれない。そんなふうに「人」を知 ること、そしてそういう「人」が同じエリアに思い 入れを持って暮らしているということを、もっとい ろいろな人と共有したい。それを可視化することで、 エリアはさらに魅力を増すだろう。



亀の町ストア。頼もしいスタッフ達と。

16 Future SIGHT